

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
仁良川地区(第二期)

令和元年9月

栃木県下野市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-⑧ 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	地区内の世帯数	戸	646	830	835	確定 見込み	○ ●	あり なし	1,009	R元年6月	○	<ul style="list-style-type: none"> 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる 	定住人口増加のための土地区画整理事業と、それにより形成された良好な居住環境や高い生活利便性により地区内の世帯数が着実に増加している。
指標2	安全・安心に関する満足度	%	13.0	20.0	20.3	確定 見込み	● ○	あり なし				<ul style="list-style-type: none"> 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる 	
指標3						確定 見込み		あり なし				<ul style="list-style-type: none"> 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる 	
指標4						確定 見込み		あり なし				<ul style="list-style-type: none"> 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる 	
指標5						確定 見込み		あり なし				<ul style="list-style-type: none"> 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる 	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-② から転記 ※ 全ての指標について記入

※ フォローアップの必要のある指標について記入

※ 全ての指標について記入

様式4-⑨ その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1						確定 見込み						<ul style="list-style-type: none"> 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる 	
その他の数値指標2						確定 見込み						<ul style="list-style-type: none"> 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる 	
その他の数値指標3						確定 見込み						<ul style="list-style-type: none"> 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる 	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-② から転記 ※ 全ての指標について記入

※ フォローアップの必要のある指標について記入

※ 全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-⑤ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-①に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	安全・安心で魅力的な居住環境の形成	・土地区画整理事業を推進した。 ・公園整備により周辺居住環境の向上に努めた。	・土地区画整理事業の推進により安全・安心で魅力的な居住環境が形成され、地区内の居住世帯数が増加した。	・引き続き土地区画整理事業を推進し、より安全・安心で魅力的な居住環境の形成を図る。
	地域住民主体のまちづくり活動の支援	・防災機能を備えた公園整備に向け、先進地への視察及び研修を実施した。 ・地域での環境美化活動の実施に向けて、活動を支援した。	・まちづくりにおける防災公園の利用についての理解の増進が図れ、公園利用者の増加にもつながっている。 ・地域における環境美化の意識改善が図れ、環境美化活動参加者の増加につながっている。	・まちづくりに関する地域団体の育成と活動支援を行い、継続的な発展を促していく。 ・学識経験者等によるまちづくりに関する講演会やワークショップを開催し、地域住民によるまちづくり活動の支援を引き続き行っていく。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	公園整備に対する満足度の向上	・整備済み公園の利用促進に努めた。 ・まちづくり団体を主体として公園の名称を決定した。	・隣接住民のみならず市内高齢者施設等にも利用され、整備された公園の認知度が上昇した。 ・地元で公園名を決めたことにより身近な公園として認識され、幅広い年齢層の利用につながるとともに、公園への愛着度が高まっている。	・災害時における避難場所として、防災設備の周知等を行う。 ・地域のお祭りやイベント等の利用により、地域交流施設の一つとして積極的に活用していく。
	交通安全対策の充実	・整備済み道路において停止線を順次設置した。 ・道路拡幅等に併せた電柱等の支障物件の移設により、死角等危険箇所を削減した。	・歩行者、自転車等の通行の安全性向上により地域住民が安心して移動できるようになった。 ・見通しの良い道路の整備により通学路の安全性向上が図れた。	・警察との協議を行い、整備済み箇所における信号機や横断歩道等の新設を促し、更なる安全対策を行っていく。
	地域特性を生かした景観形成	・地区内に昔からある寺社等の景観資源の適切な保全に努めた。 ・それらの景観資源を生かした歴史的調和のある景観づくりに向けてアドバイスした。	・地区内における歴史的建造物と新たな住宅が調和した景観が形成されつつある。	・地域特性を生かした景観を維持するとともに、新たな景観づくりを図っていくため、地域住民が中心となった景観形成のルールづくりを検討する。

事後評価シート 添付様式5-① から転記

様式4-⑥ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画(第2回変更)

に ら が わ ち く だ い に き
仁良川地区(第二期)

と ち ぎ し も つ け
栃木県 下野市

平成30年1月19日

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針

- 暮らしの利便性が高く、魅力的な居住地の形成(定住環境づくり)
- ・暮らしの利便性を高めるため、地区内の生活道路を整備することで、地区内のネットワークの形成および交通安全性の向上を図る。
- ・魅力的な居住地の形成のため、住民の身近な公園である街区公園や近隣公園を整備することで、地区住民の憩いの場や交流の場となる空間を形成するとともに、地域コミュニティの醸成を促す。

- 子どもから高齢者まで誰もが安全・安心に暮らせる生活環境の形成(安全・安心環境づくり)
- ・地区の主要な避難場所となる近隣公園などに備蓄倉庫などの防災施設を整備し、災害に強い環境づくりを推進する。
- ・夜間の安全性や防犯性の向上を図るため、街路灯や防犯灯を設置する。
- ・安全・安心に暮らせる生活環境の形成のため、先進地視察や講演会等のまちづくり活動を支援する。

方針に合致する主要な事業

基幹事業(道路 市道8212号線、市道8232号線、市道8252号線、市道8257号線、市道8260号線、市道8226号線、市道8239号線、市道8222号線、市道8234号線、市道8261号線、市道8295号線、市道8271号線、市道8270号線、市道8275号線、市道8272号線、市道8282号線、市道8283号線、市道8284号線、市道8278号線、市道8279号線、市道8285号線、市道8181号線、市道8197号線)
 基幹事業(公園 街区公園3号、街区公園5号、近隣公園)
 関連事業(土地区画整理事業、公共下水道)

基幹事業(地域生活基盤施設 備蓄倉庫)
 提案事業(地域創造支援事業 防犯灯設置事業)
 提案事業(まちづくり活動推進事業 まちづくり活動推進支援)
 関連事業(土地区画整理事業、公共下水道)

その他

- 住民との協働による継続的なまちづくり活動の推進
 都市再生整備計画(第二期)完了後においても、自治会や育成会といった既存組織を核としたまちづくりの体制を支援し、公園や歩道の美化活動の他、防犯・防災など、多様なまちづくり活動の継続・発展を推進する。

